

刊夕 日七廿月三



定価 一部全紙 五銭五分 五折紙 五銭
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社



みかん箱
 その他(一)
 榎葉 勇

逃げ帰った青年

私のところへ突然田舎から一人の青年が訪ねて来た。この青年は私がまだ田舎にゐた頃、父の死で、父の意思の衝突から、東京に出で、一旗あげたいといふので、両親の許しもなく飛び出して来たのであつた。私はいろ／＼と其の不心得をさととして歸郷するやうにすゝめたが、青年は一向私の言葉を耳に入れず、適當な仕事を探して貰ひたいと懇願して止まなかつた。

私は困つたものゝ今に歸りたくなるだらうと考へて市内をあちこちに見物させ、十日ばかりを過した。水餅は食鹽を少し入れて浸けておくと變な匂ひがしない。

青年は一向歸る氣配もない。その頃私は深川の或る小学校で教鞭をとつてゐた。この學校は今日では廢止されてしまつたが、貧兒ばかりを收容する特別な學校であつた。だから子供を教へるといふこと以外に、家庭

の救済方面にまで手を出さねばならなかつたので、家庭の事情を知るために、殆んど毎日のやうに子供たちの家庭を訪問した。

青年が私の家へ來てから十二三日目の晩だつたが、私は別に何とはなしに青年を伴つて家庭訪問に出かけた。

【朝】清汁一豆腐 小付 やきのり
 【晝】煮付一照やき 魚
 【晩】親子井上鶏肉 三つ葉 玉ねぎ

た。ところが私の宅に戻るや其の青年が「先生、僕はもう郷里へかへります」と不意に思ひ掛けないことを言ひ出したので、青年の歸郷を願つてゐた私もいさゝか驚いて「どうしたんだね、急に」と青年の顔を見つめながらきくと、落ち着かない様子で「先生、明日は歸ります。僕は東京がこはくなつたんです。華やかな大都會の裏にあんな所があるとは思ひませんでした」といふ青年は、まるで何かにおびえてゐるやうであつた。勿論、其の青年は翌日お

新入學生靴

中學生編上靴 ¥4.30
 女學生用靴 ¥4.00
 中學生用(注文) ¥6.00
 女學生用(注文) ¥5.00
 他紳士型、青訓用等豊富
 取揃へてあります

菊地靴靴店
 平四・電六五九

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

おひな人形 大賣出し

本年の新型人形 セット物各種
 小道具類一式
 豊富に取揃へました
 是非御一覽下さい

平二丁目
フクダヤ祝品部

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
 平町南町一六(電話一七〇番)

文部大臣 認可 **藤田女學校** 募集徒

一、願書受付 三月三十一日マデ
 二、詳細ハ學則請求ノコト
 平町田町 (電話三二八番)

一、本科五〇名 二、裁縫專修科百名
 三、專攻科三〇名 四、師範科 二〇名
 五、本科裁縫專修科二學年補欠 若干名

松村胃腸科醫院
 (番七〇一電町南町平)

夜間診療

胃腸病科 皮膚科
 花柳病科 性病科
 性病科 皮膚科

原齒科醫院

平町土橋通り
 電話三一一番

院長 東京齒科醫學士 原 精一
 東京齒科醫學士 柏倉 武男

齒科 口腔外科
 レントゲン科

フタを開けた 受験地獄

物凄いの三校の情景

飛ぶ熱球に 受験者の胸鳴る

磐中の校庭にて

磐中の校庭では附添父兄の憂鬱を尻目にかけて白いエニームの選手等が早春の空に熱球を打ちあげてゐる。カーンと飛ぶボールの音は幼き受験生の胸に響き上り、も天下の中學生たらんとする欲望を焦だたせることであらう、薄暗い感じの控室には父兄や先生が夫々の立場から受験中の児童を案ずる灰色の雰囲気充滿してある。

涙ぐましい

未来の大實業家

平商の控室にて

未来の大實業家を夢みる小さな受験生達は難問何のそとばかりハチきれさうな意氣をみせて晝食のパンをパクついてゐる、第一日目第三時間の受験を了した児童等は既に運命のサイの一半を振つたのだ、控室にあつた武道場には、五々先生を中にくらみ組んで午前の戦績を語るに忙

保安林の

編入と解除

明廿八日の縣山林會評議員

會の結果郡下山林で十年度縣保安林に編入されるのは大浦村字東山内山林三十五町歩三千六百十五坪及び神谷村字菖蒲澤地内一萬三千九百四坪、渡邊村字二ノ

人口のピラ

物々しい文字

磐女の受験風景

「猥りに入るべからず」と室々の入口に大書したピラの掲げられてゐるのも何となくもの／＼しい、此の校獨特のサインが鳴り響いてホットした氣分の受験生がドカ／＼控室へ戻ると様子如何にと固唾をのんで待ち構へて居た入々がサツとばかり夫々受験生を包圍して『どうして』『どうした』といふ言葉が大きなざはめきとなつて廣い講堂一杯に擴がる、『やさしかつた』と喜んでる女の兒もあれば『アラッ』と悲鳴をあげるお轉婆娘もある、付添は背廣の先生をのぞいて殆んど姉さんお母さんであるのもさすがに女學校の受験風景にふさはしい

作の三萬六千四百八十坪、平窪村字大澤の六萬四千七百三十二坪等であつて解除されるのは豊間村薄磯地内三千四百坪、日前村字志田の四千坪、小名濱町字林の上三萬三千二百十坪等である

四倉の町會

四倉町は明廿八日午前九時より町會を招集九年度追加更生豫算及び慰勞金贈呈の件其の他を附議する

郡賞

補習校と 青訓生へ

昨報ある郡賞を授與された實業補習學校並に青年訓練所の卒業生は左の如し

- (植田) 吉田知之(山田) 國井政見 安島操(錦) 薄井勳一 鈴木武雄(勿來) 加茂久雄 赤津モト(川部) 大井川軍平(上遠野) 上遠野三夫 蛭田方夫 佐藤フジ子 下山田トメ子 瀬谷力三(入遠野) 折笠久吾 平子寅正(田人) 國井重良 小源實 緑川泰賢(湯本) 磐崎岩次 大田原エキ子 佐川新一 久保田甚吉(磐崎) 高瀬忠友

青物類の

取引場開設

四月一日から

生産者と販賣者の仲介機關

平町堂の前(材木町南裡大通り)に野菜や果實類の取引場が開設された、今後生産者と販賣者の仲介機關として種々利便を圖り青物類の市價統一に努める由で、四月一日から營業を開始する、同取引場の經營は平青果株

- 小泉美智子 箱崎孝一 高木十郎(渡邊) 若松武夫 下山田テル 永山森彌 (泉) 小泉總一郎 吉田嘉子 田子將(小名濱) 渡邊良雄 田島繁夫(玉川) 鈴木一丸 永山シケ 大和田茂 鶴沼安雄 長瀬セキ 蘭部孝徳(江名) 片寄吾郎(飯野) 森正一 阿部つぎ 鈴木茂(好間) 佐藤行雄 齋藤フミ 志賀彌大河原正一 鈴木武正 (内郷) 數馬秀英 志賀一雄 高田ワカ子(稲賣) 猪狩大進 根本積造(小川) 草野政弘 猪狩兼子 長象川金一(赤井) 會川金一 鈴木トヨ子 猪狩甫 鈴木敦一 草野チヨ子 田久國治(平窪) 高橋惣吉 高田マス 戸田允善(高久) 箱崎勝春 馬上正直

- (夏井) 高木善平 阿部セイ 箱崎政雄(神谷) 木村忠次 阿部キミ子 酒井重夫(草野) 新妻榮 大平トヨ 篠崎景高(大浦) 仲野正美 吉田カヲ 酒井榮喜(大野) 高木喜平 植田ベ子 鎌田俊夫(大野) 久野忠孝 横山等 (四倉) 新妻正美 渥美花子 須藤甚吉(渡戸) 荻野壽榮 荻野源吉(永井) 佐藤貞明 藁谷喜一(合戸) 添田甲 合澤薫(箕輪) 高萩禮一 小沼陸雄 大和田喜平 鈴木信一(澤渡) 齋藤正壽 竹竹ヨシ 齋藤正壽(上三坂) 永山光保 小泉ヤチ 會田忠雄(中三坂) 佐藤興吉 佐藤マサヨ 吉田喜一郎(下三坂) 佐藤三郎 根本スマ 根本俊丸(菊田) 安島シツ

式會社が當り荷受、收容、販賣、仕切計算等總べて迅速正確を期する由同會社の重役左の如くである (社長) 石塚芳太郎(取締役) 高野正三 志賀盛榮 (監査役) 齋藤伊八 井戸川安信

小川農會事業

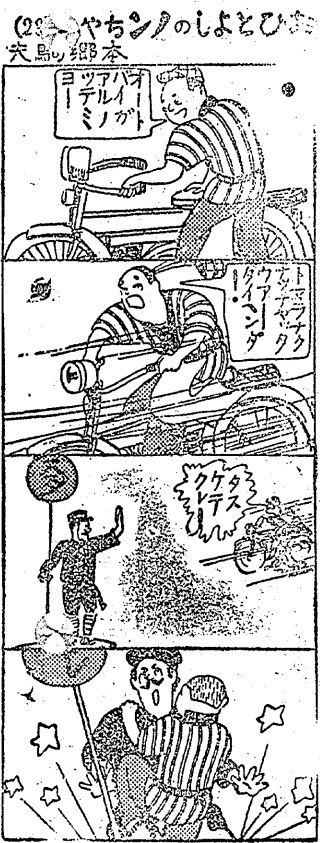
小川村農會は來る廿五日午後一時より同村小學校に役員會を開き本年度新事業を打合せると

平商人事

- 出生 △立町當時東京市日黒區原町竹田八郎氏長男一男
- 死亡 △材木町一―二面時雄(四〇)さん △鷹匠町當時大郎村字玉山小泉安子(二〇)さん

木村科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番



印刷の御用は 設備完全の 『常磐毎日』 電話六三〇

七名が大亂闘

刺されて一名即死

他の一名も瀕死の重傷

人絹景氣に 此の血祭り

本日午前二時頃植田町本町旅館兼料理店山田屋事下山田武助方で

飲酒中の勿來町大字酒井字堀ノ内請負業荒川又一郎(三)及び錦村字中田富岡飯場土工山川倉藏(三)同

富岡乙三(三)鈴木利行(三)齋藤儀平(三)の五名は銘町の餘り隣室の遊客錦村字中田昭和人絹飯場頭倉島安太郎(三)木村清吉(三)兩名こ

些細の事から喧嘩となり七名が入り亂れて亂闘となつたが荒川は双

無断入室が

喧嘩の原因

主犯其他捕る

山田屋旅館の殺人犯一味は兇行後いづれも風を喰つて逃走したが植田署の非常警戒に引掛り本日午前十一時頃主犯の荒川又一郎外一名逮捕され他の五名も本日中午には検挙を見る手筈であると尙原因は目下取調中であるが加害者の一名が泥酔の

渡五寸餘の短刀を引き抜き相手の倉島、木村の兩名に斬り付け倉島は背後から肺部を刺されて即死、木村は頭部其他に瀕死の重傷を負ひ昏倒

加害者は逸早く逃走した、急報に接して植田署は直に管内の非常招集を行つて犯人捜査に當る一方平

検事局に急報したので検事局からは今朝白水検事、關口豫審判事、桑名書記及び藤沼醫師の一行が出張臨検し屍體を解剖に附した

消火栓断水

火の元用心
平町水道部は搔植小路馬目

酒店前消火栓の取付工事の爲め本廿七日午後七時より明朝十時迄田町世界館前及び白銀町松崎自動車店前消

井上茂作氏無罪

色川佐藤兩氏も共に

磐銀の特融に係る土地の賣買問題に係る井上茂作氏の事件は同氏始め色川勝三郎、佐藤三平の兩氏共本日宮城控訴院に於いて無罪の言渡あつた旨入電あり

給食資金

入山の寄附

湯本町入山炭礦では凶作地方農繁期托児所の給食資金に昨廿六日縣社會課へ百圓を寄附した

廉賣デー

メイトル
役場の宣傳
平町役場は四月十一日の度量衡記念にはメイトル法使用の大宣傳を行ふべく準備中であるが大體左の豫定である

明日のラジオ

廿八日

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「グアイオリン」鈴木政吉
- 後七、三〇 講演「聯盟脱退後に於ける國際情勢」法學博士山川端夫
- 後八、〇〇 長唄「綿業會館より中繼」安達ケ原
- 吉住小三郎外

火栓の断水を行ふ

豫報

今晚も明日も北西の風天氣良くなる

明日の部

- 後八、三〇 落語 三遊亭圓生
- 後八、五〇 絃樂合奏 コンセルジュウ室樂合奏團
- 後九、一〇 連續ラヂオ小説「恩讐の彼方へ」(一)梅澤昇
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

自轉車隊

一行百名

農事視察に 四日に來郡

既報百名の自轉車隊を組織して農事視察に來郡する信夫精農講習會員の一行は來月四日午後五時頃双葉郡より來平、五日迄平町に宿泊この間草野、神谷、泉、平窪等を巡回する爲め本郡農會は種々便宜を盡すと

セメント係長 四倉町磐城セメント工業所事務係長に此程東京本社より八角留平氏が着任した

裁判所たより

△湯本町大字三國二五〇毛布行商内田軒治(三)同町向田四四古物商岡助(三)同町字三國二二五古物商千葉久藏(六)同町字三國二二一齊藤齊治(〇)は賭博罪にて平區裁判所より略式罰金二十圓宛言渡さる

家事講習

女先生達が

石城郡第三區女教員會では今廿七、廿八兩日平第二小學校家事室にて家事講習會を開催した講師は東京營養學校教師佐藤久子女史である

基礎講習講座

- 前七、〇 基礎講習講座 三十一 三浦吉兵衛
- 前七、三〇 朝の修養「降魔表」七 決死隊の突貫 加藤咄堂
- 前九、一〇 料理献立「鍋焼豆腐」佐藤百合子
- 前九、四〇 第十二回全國選拔中等學校野球大會實決：甲子園野球場より中繼
- 前一〇、三〇 婦人講座「春から夏への洋裁」(一) 婦人服 土屋許子
- 後〇、〇五 吹奏樂 海軍軍樂隊指揮樂長内藤清五
- 後二、〇〇 家庭講座「寄生虫の話」警視廳技師齋藤

學博士磯部美知

- 後六、〇〇 子供の時間 童謡と唱歌 宮城縣關上小學校兒童、ピアノ伴奏 佐藤剛
- 後七、三〇 講演「蠶糸問題」農林大山崎臣達之輔
- 後八、〇〇 (京城より)朝鮮新民謡 唄鮮子一扇伴 奏ポリドルオーケストラ
- 後八、三〇 浪花節 東家三樂
- 後九、一〇 連續ラヂオ小説「恩讐の彼方へ」(三) 梅島昇

一冊の代金

御希望通りな

五冊の雜誌が

自由に讀める

川崎文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

本社事務取締役松崎松治夫人ツネ子

殿豫而病氣の處養生不相叶本日午後六時死去致候間此段御通知申上候
追而來る三十日午後二時より石城郡平窪村大字中平窪字桂進の自邸に於て告別式執行仕り候
昭和十年三月二十五日
福島市榮町三十五番地
株式會社 福島モーター商會



明治太平記

（作）寺島征史
（監）野口 伍

第八十五回

征韓是非 (三)

「その虚を狙つて、露國が侵略の手を伸ばし先住のカムチャダルを歸順せしめいつのまにか自分の領土だと内外に公表してしまつたそこで、さらにカラフトを攻略し、北海道までも狙つてをる。一方シベリアからの手は朝鮮にも伸びようとして居るといふありさま、實に言語同断な奴原なのぢや」

「怪しからん」
佐田は、森山の悲憤慷慨に合槌を打つた。

「それから、英國は何をもくろんでをる……かを見るが、先年關門及び薩摩を襲ふた英國は、その時の敗戦で永久に手を引いたかといふになか／＼さうではない。支那南方に勢力を張る一方いやついでに日本をも丸呑ししようとして、いろ／＼手段を弄してをる。維新回天のどさくさまざれに、薩長土肥の兵に、軍艦を貸與しようと談じてきたのも軍艦を貸し幕府を倒しておいて、あとでその恩義を返さずに乗込んできて、利権を漁らうといふ魂膽」

「怪しからん」
佐田はまた、激情をおもてにあらはして呟いた。
「その英國は、近頃また、新政府の要路に喰入つて鐵道敷設資金とか東京灣埋立工費だとか電信架設資金だとかいふて、いろ／＼な工事費の募債に骨を折つて

軍資金の貸與方を申込んでまゐつたが、これもまた露國の陰謀と同様に兵力と財力との種を撒いておいてやがて神州の地を八裂にしよとの魂膽だつたのぢや。函館戦争のとき露國が榎本釜次郎に使を派して、官軍を迎へ討つためにその東洋艦隊を貸さうと申出た。この場合自己の利益關係から計算したならば、よろこんでこれに應じた方が得策だつたらう然るに榎本は「自今の戦争は國內この争ひだ同じく日本國を思ふことか起つたのである。然るを外國の援を藉つて同志の安



居るが、つまり兵力を餌に恩義を賣り、日本を借金せめにして國を盗まうとの肚なんぢや」

「なるほど」
「佛蘭西はどうぢや。やはり維新のどさくさまざれに幕府に密使を派して軍艦が

全を圖るなどとは國辱である。武士道の精神にもとるものでござる」といふて斷乎としてこれを拒絶いたした。もし榎本に、祖國を愛する一片の熱情がなかつたならば、きつと露國艦隊の助力を乞ふことだつたら

う。江戸城明渡しの際、東洋方面に勢力を扶殖しようとして野心満々であつた佛蘭西から、巨萬の兵と金を徳川幕府が借りたらともい我が神州は今日どうなつてをるかかわからん」
森山は、外務官だけに、さすがに外交のことが明るい。
「うむ、聞けば聞くほど、不埒千萬な奴原だ」
國外の事情に暗いだけに佐田は、それをきくと、じいつとしてはあられない氣がした。
「それから……」
森山は、妓に酌をさせながら
「隣國支那を見るが、支那は朝鮮をもつて己が屬國と稱し大院君を箠絡し政治を指導し軍隊を送り。我がもの顔に振舞ふてをる。」

ランドセル

●全部玉付の石板が樂に入ります●

- 大型……………0.95錢
- 學修院型……………1.5)
- 〃〃……………2.0)
- 〃〃……………3.00
- 〃〃……………5.50

セビヤと黒各種

カバンとポーシ

手提カバン

●補助運動靴景品付賣出中●

に
ツルヤ

平四・電一四〇

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町南町 電話五一三番

木炭代用

月星豆炭 一八キ口壹袋

金八十錢

平驛前

阿部石炭商店

株式賣買債權取立
合資 三 共 商 事

大町 電話三六〇番

今年おもお染の
横濱植木社會特撰の

ハハのタネ

參りし。たし。何れも
輸出向優良種子です

西村藥局種子部

平 2 電 3